

豊かな長寿社会を

郡上市シニアクラブ 第72号

令和8年7月1日

郡上市シニアクラブ連合会は令和8年度から大きく変わります。今後は単会を中心に、地域に根付いた活動をすすめていきます。また、会員を対象に発行していた会報を、郡上市にお住いのみなさんに活動を知っていただくため、回覧方式に変更しました。これからのシニアクラブの活動にぜひともご注目ください。

新体制での第一歩 令和8年度の活動目標「ふれあい宣言」を発表 “明るく 楽しく 元気よく 背中をみせるシニア活動”

5月27日(水):これまで行ってきた総会に代えてふれあい交流会を開催:石川県老人クラブ連合会山崎一郎事務局長と金沢市藤江健寿会澤本久会長をお招きし、講演会とグループワークを開催しました。シニアクラブの課題を皆で共有し、今年目標を決めました。今後は守られるシニアから地域を支えるシニアへと、改革の歩みが一歩ずつ始まります。



「高齢者交通安全大学校」開校式開催(白鳥地区)



5月21日(木)郡上警察署主催「白鳥地区高齢者交通安全大学校」開校式がふれあい創造館で開催されました。これは平成12年から小学校区ごとに開催されている取り組みで、シニアクラブ恒例の行事となっています。今年は29名のシニアクラブ会員が参加しました。郡上警察署からの情報では昨年度、岐阜県では55件の交通死亡事故があり、このうちシニア世代は42名の死亡となっているとのことです。こうしたことから「自動車学校での指導」「反射材の活用」「自動車シミュレーターを活用して交通安全について学ぶこと」を目的として開催されています。

川合光寿会:川合小学校奉仕作業実施(八幡地区)

5月23日(土)光寿会役員他13名が参加し、川合小学校の校舎回りや駐車場、プール周りの草刈りを実施しました。この行事は30年ほど前から続いており、当時は松の木の剪定なども行われていました。最近では見守り活動も行い、地域で子供たちを守り支える体制を整えています。作業は2時間ほどで終了し、最後に参加者全員の写真を撮影。写真は校舎内に飾られ、今後は校内から生徒を見守ります。



那比の歴史はわしらが守っとるよ～あんきにしなれ(八幡地区)

6月5日(金)那比寿会による宝暦義民・那比村藤吉と可児義雄の墓掃除・南天公園の清掃作業を実施 傘連判状で有名な郡上一揆。死罪となった那比藤吉の墓石は二つに割られて那比川に投げ込まれ、それが明治になって見つかりました。その傷痕残る墓石を那比寿会の皆さんが守り続けています。休憩時には皆で近況を語り合います。また福常寺では、「農民の父」と慕われた可児義雄の墓掃除や南天公園の草刈りと、那比川に沿って三つの地区で清掃作業が行われました。こうした活動を通して歴史が今に息づくひとときにつながります。



郡上北高校の生徒さんとシニア世代が室内ペタンク(白鳥地区)

6月9日(火)ペタンク交流会開催

中間テストを終えた郡上北高校の家庭クラブ(1～3年生)の生徒さん30名と、白鳥と為真シニアクラブの会員15名が白鳥体育館に集合し、ペタンクを通して交流しました。当初はペタンク初心者的高校生に球の投げ方を教える皆さんでしたが、若い世代の飲み込みの早さに圧倒。きわどいコースに生徒さんが飛び上がって歓声をあげ、笑顔あふれる交流会となりました。日頃は若い世代と交流が少ないシニア世代にとって、貴重な機会をいただきました。

校庭の整備で思う あの頃のこと(和良地区)

6月13日(土)和良小学校グラウンド整備事業

和良地区下沢シニアクラブと和ごみの会が和良小学校のグラウンド整備を行いました。10年以上続くこの事業ですが、「おれんたが子供の頃はグラウンドに、こんな草が生えるなんて思わなんだでなあ」と田口会長は話します。それくらい子供たちがいて、草の生える余地もなかったと言います。運動会には村中の人々が集まり、校庭の周りはテントでにぎわったそうです。そして運動会といえば屋台も並んでいたことでしょう。そんなかつての日々に思いをはせながら、今できることを皆で続けています。



こぶしの会 ニッセイ生き生きシニア活動賞受賞(高鷲地区)

6月1日(月)高鷲児童とシニアクラブの グラウンドゴルフ交流会

十数年前、当時のこぶしの会会長から子供用グラウンドゴルフ用具の一式20人分を贈呈されたことから始まった行事。これが学校行事として定着し、今回、子供もシニア世代も楽しめる地域交流活動として評価され、岐阜県庁で開催された顕彰式に和田会長が出席されました。

